

第 1 3 回総務経済常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 5 年 1 2 月 8 日 (金曜)		午前 9 時 3 0 分 開会	
	休 憩 9:30-31 9:34-35 10:02-03 10:16-17 10:30-45 11:10-11 11:39-41 11:55-56			
	午前 1 2 時 0 0 分 閉会			
	休憩時間：0 時間 2 3 分		会議時間：2 時間 0 7 分	
会議場所	役場 3 階委員会室			
出 席 委 員 氏 名	委員長	正村紀美子	委 員	菊池 秀明
	委 員	西尾 一則		
	委 員	常通 直人		
	委 員	渡辺洋一郎		
説 明 員	魅力創造課長	西田 昌樹	商業振興係長	平山 亮輔
	課長補佐	渡邊 浩二	政策推進課参事	日下 勝祐
	魅力創造係	近藤 猛児	政策調整係主査	玉堀 雄一
	政策推進課長	石田 哲	環境土木課参事	齋藤 和也
	政策調整係長	大石 秀人	農林課長	我妻 修一
	商工労政課長	仲野 裕司		
参 考 人				
欠 席 委 員 氏 名	副委員長	木村 淳彦		
	委 員	橋本 和仁		
事務局職員	事務局長	安田 敦史	総務係長	竹川恭史
『会議に付した事件と会議結果など』				
1 開 会				
委員長が開会を告げ、木村副委員長及び橋本委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。				
2 議 件				
・委員長：お諮りする。農林課より「令和 5 年産農畜産物の生産見込みについて」報告の申し出があったので、日程に報告を追加したい。異議ないか。 (異議なし)				
・委員長：資料配布のため、暫時休憩する。 (休憩)				
・委員長：休憩を取り消し、委員会を再開する。追加報告事項「令和 5 年産農畜産物の生産見込みについて」報告を求める。				
・農林課長：資料説明（粗生産額概算推計約 3 6 4 億円。前年対比 3 1 億円増。過去最高額の令和 3 年産と概ね同額）				

- ・委員長：以上で報告事項を終了する。

(1) 調査事項

ア まちなか再生ビジョンについて

- ・魅力創造課長：資料説明（「資料1-1（策定経過・今後のスケジュール・令和6年度実施事業、当初案変更箇所）」「資料1-2（令和6～8年度アクションプラン）」説明）
- ・委員長：「資料1-1」について、意見・質疑はないか。
- ・常通委員：「おためし地域おこし協力隊（資料2ページ）」とは？具体的に説明を求めたい？
- ・魅力創造課長：総務省事業として令和元年度に創設。過去に本町でも募集したが、応募がなく実施に至らず。2泊3日の日程で現地関係者等との顔合わせ。財政措置もある。
- ・渡辺委員：何名を想定しているのか？
- ・魅力創造課長：3名ほどを想定し、令和6年度に向けた正式な応募につなげたい。
- ・委員長：「資料1-2」について、意見・質疑はないか？
- ・菊池委員：「相談窓口の継続・進化（資料3ページ）」とあるが、具体的には？
- ・魅力創造課長：現行の役場内（魅力創造課）相談窓口では、延べ5件の相談実績。継続・進化について、目標値は設定していない。
- ・菊池委員：「相談窓口の継続・進化」とは、相談件数を増やすことがねらいか？
- ・魅力創造課長：お見込みのとおり。
- ・常通委員：「まちなか施設での職員在中」とは、地域おこし協力隊を指すのか？
- ・魅力創造課長：地域おこし協力隊のほか、町職員も含むものである。
- ・常通委員：「まちなか施設」とは具体的には？
- ・魅力創造課長：まだ、確定していない。
- ・常通委員：「空き物件の活用・流通促進」について、幕別町（地域おこし協力隊）で類似した取組みがあると認識している。情報共有はされているのか？
- ・魅力創造課長：芽室町独自の課題として捉えている。現時点では幕別町と情報共有していない。
- ・菊池委員：幕別町では、建築関連の専門知識を有した地域おこし協力隊が活躍していると認識している。本町における協力隊募集にあたり、専門知識等の条件設定は？
- ・魅力創造課長：資格保有は問わない募集である。
- ・常通委員：「おためし」の2泊3日の採用は、一人当たり1回か？数回か？
- ・魅力創造課長：一人当たり複数回は想定していない。しかしながら、オンライン等の継続アプローチは想定している。
- ・渡辺委員：「空き物件の活用等々」のミッションを2泊3日で成果が出るのか？
- ・魅力創造課長：資料に記載のミッションは、令和6年度事業。2泊3日でのミッションは、「おためし」が、町を知り担当業務を知ることがメイン。町が、地域おこし協力隊の候補者に対して、ミッションを説明し、理解を得ることが目的。
- ・渡辺委員：「おためし」の中から、次年度採用者を決定するのか？

- ・政策推進課長：新年度採用予定人員は1名。この対象を「おためし」の中から選考することに、固執しているものではない。
- ・渡辺委員：「拠点施設の整備と」とは？
- ・魅力創造課長：役場内の相談窓口とは別のものを想定している。
- ・渡辺委員：人が集える場。一定スペースの確保か？
- ・魅力創造課長：お見込みのとおり。
- ・渡辺委員：令和6年度中の設置か？
- ・魅力創造課長：設置はまだ先。検討がメイン。
- ・渡辺委員：「(4) 金銭的支援」とは？
- ・商工労政課長：令和5年度から、すでにスタートしている。
- ・魅力創造課長：実績はゼロだが、魅力創造課所管の事業も今年度からスタートしている。
- ・委員長：ここで、委員長の職を年長委員の西尾委員と交代する。少しの間休憩とする。
- ・(休憩)
- ・委員長(西尾)：休憩を取り消し、委員会を再開する。引き続き質疑を行う。
- ・正村委員：「(1) 相談窓口の継続・進化」として「まちなか施設に職員」を在中させる目的は？役場でも機能を発揮できるのではないか？
- ・魅力創造課長：人が集いやすい設定。時間、雰囲気、場所等の要素。
- ・正村委員：役場の「チャレンジ窓口」の実績(延べ5件)を踏まえて、成果の見込みは？
- ・魅力創造課長：相談件数が伸びることを見込んでいる。
- ・正村委員：「(1) 相談窓口」と「(5) 拠点施設の整備」の取組みはリンクするのか？
- ・魅力創造課長：令和6年度はリンクしない。
- ・正村委員：これまでの取組みから見える課題と、このプランでの解決方策へのつながりはどこにあるのか？
- ・魅力創造課長：今後、公民連携により役場主導ではなく、考えていきたい。
- ・正村委員：すでに存在する「町民活動センター」とは、別の機能を設置していく意味か？
- ・魅力創造課長：既存施設の集約も含めて考えていく。
- ・委員長(西尾)：他にないか。改めて委員長職を正村委員と交代する。休憩する。
- ・(休憩)
- ・委員長(正村)：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ DX推進事業について

- ・政策推進課参事：事業概要説明。資料は担当主査から説明する旨を告げる。
- ・政策調整係主査：資料説明(「資料2-1(令和5年度進捗状況)」)
- ・委員長：「資料2-1」について、意見・質疑はないか。

- ・菊池委員：全体的に利用者へのサポートについて、どのような考えか？
- ・参事：デジタル分野に対して、得意・不得意は存在することから、効率性の追求に固執せず、対象ごとに丁寧な対応に努めている。
- ・渡辺委員：LINE 公式アカウントの登録者数は？
- ・主査：5,450 人。
- ・渡辺委員：いっそうの数の増加に向けての取組みは？
- ・主査：使いやすさの改善、広報の充実等。
- ・渡辺委員：主要事業推進 4 項目（「①芽室版書かない窓口（住民窓口係）」「②訪問調査事務・認定調査事務（介護保険係）」「③地域生活支援事業（障がい福祉係）」「④児童クラブ会計年度任用職員の勤怠・賃金事務（児童係）」）について、主たる課題は何か？
- ・参事：「①書かない窓口」については、庁内デモを実施した結果、十数回も同一人物が申請書等を記載する実態を把握した。また、「②訪問調査・認定調査」については、主流となっている紙媒体のデジタル化への切り替えには時間を要することなどである。
- ・常通委員：主要事業 4 項目を担当していないセクションへの棚卸について、今後の計画は？
- ・参事：全庁的に、今年度中に、各セクションひとつは棚卸業務の選定するようアナウンスしている。徐々に取組みの拡充を目指している。職場の文化として習慣化させながら取り組んでいきたい。
- ・菊池委員：全庁的にオンライン申請が増えていくものと考えている。既存窓口とオンライン申請との並行運用について、どのような考えか？
- ・参事：一例をあげると、「押印廃止」の手続きが増えている。経過措置を含めながら、利用者に支障のないように取り組んでいきたい。
- ・渡辺委員：芽室版の「書かない窓口」のイメージは？例えば、身分証明書を持参することで、大半の手続きが完了するようなイメージか？
- ・主査：先駆的に取組まれている自治体を視察しながら、御意見のようなイメージで進めていきたい。
- ・渡辺委員：スモールスタートとは？具体的には？
- ・主査：身分証明書の提示によって、一定手続きを処理できるようなことを目標にしている。
- ・西尾委員：デジタルに縁遠い対象も存在する。高齢者のみならず、デジタルに苦手な町民等への対応はどのように考えているのか？
- ・参事：DX の推進として、効率よく便利さを追求していく方針はベースにあるが、利用者の立場に立った手続きに支障のないよう配慮していきたい。行政のみならず、民間事業者のサービス（意識啓発等）も適宜活用しながら、住民に対する DX の意識を浸透させていきたい。
- ・西尾委員：LINE 登録者のうち、いわゆる高齢者の登録者数は？
- ・主査：(60 代以上は) 1,300 人以上である。
- ・渡辺委員：福祉灯油の申請等について、オンラインでの手続きは進めているのか？

- ・参事：全庁的な調査の結果、行政の立場で、オンラインの可能性は多くのメニューがあることを認識している。今後は、できるところから取組んでいく考えをもっている。
- ・委員長：ここで、委員長の職を年長委員の西尾委員と交代する。少しの間休憩とする。
- ・(休憩)
- ・委員長（西尾）：休憩を取り消し、委員会を再開する。引き続き質疑を行う。
- ・正村委員：「DX 推進ビジョン」について、総合計画の分野ごとのイメージは？
- ・参事：3つの基本方針（①住民、②行政、③安心・安全）を掲げて、整理していきたい。
- ・委員長（西尾）：他にないか。改めて委員長職を正村委員と交代する。休憩する。
- ・(休憩)
- ・委員長（正村）：意見・質疑はないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・参事：「資料2-2（帯広圏デジタル化推進構想原案）」「資料2-3（帯広圏デジタル化構想パブリックコメント実施要領）」説明
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・菊池委員：「目指す方向性」として、「共通化・標準化」とあるが、基本的な考え方は？
- ・参事：一例をあげると災害時の対応として、「共通化・標準化」は有効と考える。個別事務については、各自治体の事情も加味しながら取組んでいくことになろうと考える。
- ・常通委員：圏域（帯広市・音更町・芽室町・幕別町）の構成員となった財政的なメリットは？
- ・参事：現時点では、国の補助金・助成金の対象となる熟度には至っていない。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

ウ 地球温暖化対策事業について

- ・環境土木課参事：資料説明（「地域脱炭素戦略策定調査事務」「地球温暖化防止実行計画策定委員会」「芽室町ゼロカーボン庁内推進会議」）
- ・委員長：意見・質疑はないか。
- ・菊池委員：策定委員会の開催状況の議会報告の時期は？
- ・参事：来年1月以降を予定している。
- ・常通委員：予定通り進んでいる認識で良いか？
- ・参事：概ね、予定通り進んでいる。
- ・渡辺委員：今後の議会への説明時期は？
- ・参事：来年1月以降に説明させていただきたい。
- ・委員長：他にないか。
- ・(意見・質疑なし)

- ・委員長：以上で調査事項「ウ」を終了する。
- ・委員長：自由討議をお諮りする。調査事項「ア」についていかがか？
- ・常通委員：本日の調査事項3件について、自由討議は不要と考える。
- ・渡辺委員：調査事項「ア」については、不要と考える。「イ」については、総務経済常任委員会の新たな抽出事業にも選定したことから、勉強会のような機会があると調査が深まると考える。
- ・常通委員：同感である。
- ・委員長：正副で協議し取り組んでいきたい。「ウ」については自由討議はないか？
- ・(なし)
- ・委員長：自由討議を終了する。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任

(2) その他

- ・委員長：「その他」で各委員からないか？
 - ・渡辺委員：新たな抽出事業とした「DX」に係る進捗工程表の共有をしたい。
 - ・委員長：正副で「たたき台」を整理し、委員会に御提示したい。
 - ・委員長：事務局からないか？
 - ・(なし)
- 以上で総務経済常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和5年12月8日

総務経済常任委員会委員長 正村 紀美子